

□■養成所ニュースプラス第 35 号 2024□■

能登半島地震の発災から3週間になろうとしています。現地の要請に基づき、災害派遣福祉チーム（DWAT）も現地入りし初動対応支援の確認や支援活動を始めました。皆さんの中にも、働きづめの方がいると思います。休めるときに休んでください。震災後29年になる阪神淡路大震災の追悼会場では「ともに」の文字が描かれました。社会の結束が求められています。

今回の人物に関する○×問題は、「相談援助の基盤と専門職」（現、ソーシャルワークの基盤と専門職）と「相談援助の理論と方法」（現、ソーシャルワークの理論と方法）からの出題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみてください。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法○×問題】

1. パールマン（Perlman,H.）の問題解決アプローチは、精神分析や自我心理学の理論を否定し、人・状況・その双方の関連性においてケースワークを捉えた。【第32回問題101】
2. ホリス（Hollis,F.）は、「状況の中の人」という視点で、心理社会的アプローチを提唱した。【第34回問題92】
3. バートレット（Bartlett,H.）は、システム理論を指向した一元的アプローチを展開し、後に認知的 - 人間性尊重アプローチを展開した。【第32回問題93】
4. ソロモン（Solomon,B.）のエンパワメントアプローチは、人の自我機能に着目し、自己対処できないほどの問題に直面しバランスを崩した状態を危機と捉える。【第34回問題100】
5. ジャーメイン（Germain,C.）は、クライアントの環境は、アクション・システムなど、複数のシステムから構成されると説いた。【第33回問題98】

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・【重要】令和6年能登半島地震に被災された受講生の皆様へ
大変な状況と存じます。まずは日常を取り戻すことを最優先してください。連絡できる状況になり、今後の学習についてご不安等ございましたら、ご相談ください。
- ・(34期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(35期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・(35期生) 3学期レポート課題の<テキスト・参考文献>表記に誤りがありましたので、ホームページに訂正を掲載しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203545&c=3246&d=99c7>

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月4日（日）です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203546&c=3246&d=99c7>
- ・【重要】第36回国家試験に係る石川県試験会場の変更等について、社会福祉振興・試験センターから情報発信がありました。←New

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203547&c=3246&d=99c7>

・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。

現在は、「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」の一部と「国家試験集中講座（共通科目／社会専門）」のオンデマンド動画が視聴可能です。また、12月20日（水）に国家試験直前対策講座（有料）の講義動画の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。

受験対策講座ページへのアクセスはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203548&c=3246&d=99c7>

※「国家試験集中講座（共通科目／社会専門）」については、申し込みが完了し受講確定通知を受けた方に限り視聴が可能です。

※「国家試験直前対策講座（有料）」については、受講確定者に対してご案内（受講確定通知）を郵便及びメールにて送付しています。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203549&c=3246&d=99c7>

・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第36期生の出願を受け付けております。

現在、3期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介くださいますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203550&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203551&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1203552&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第17号／当日に備える】

社会福祉振興・試験センターのホームページ「重要なお知らせ」には、令和5年度の各国家試験における感染症対策についてのお知らせが掲載されています。新型コロナウイルス感染症は感染症法分類の5類に移行しましたが、受験者の多くが高齢施設・病院等の職員であるため、安心して受験できるように感染症対策を実施すると書かれています。

マスクの着用は、個人の判断に委ねるとしつつも着用を推奨するとしています。手指消毒は、会場入口にアルコール消毒液を設置するそうです。前回との大きな変更点は、5類への移行により新型コロナ感染症により受験できない方への受験料の返還は廃止されたことです。当日に備えるためにも一読しておきましょう。

その他、注意事項をまとめました。「受験の手引」や「受験票」にも記載がありますので、必ず確認し当日に向けた準備を進めていきましょう。

午前9時20分から注意事項の説明が始まるため、午前9時15分までに必ず入室すること。

公共交通機関を利用して来場すること。

自家用車での送迎は遠慮すること。

近隣店舗や近隣施設の駐車場への駐車は、絶対にしないこと。

→公共交通機関の遅延等も想定し、時間に余裕をもって向かきましょう。会場までの経路や所要時間を事前に把握しておくことも忘れずに。

試験会場へのアクセスは受験票を確認すること。

→会場への電話による道順の照会等は絶対にしないでください。試験会場の下見もできません。しかし、最寄駅から会場までの道順や所要時間、最寄駅や乗換駅のトイレの場所などを確認することはできます。この土日に気分転換にいかがで

しょう。

今回は、合格した先輩からのメッセージをお伝えします。

【Plus Quiz・・・正答と解説】

今回の2つの科目の人物問題には、5人の人物が選択肢になる問題があります。このような問題では、人物名が入れ替えられることもあり、何人かの確実な知識があれば消去法で回答できることがあります。また、共通する人物が双方に出題されることもあるので、知らない人物に惑わされず、ご自身の知識を最大限に活用しましょう。

相談援助の基盤と専門職では、ソーシャルワークの形成過程における重要な出来事とともに人物を、相談援助の理論と方法では、ソーシャルワークの実践理論、モデルやアプローチに関する人物を押さえることがポイントです。

1. ×パールマンの問題解決アプローチは、診断主義アプローチと機能的アプローチの統合を目指した折衷アプローチです。ケースワーク過程を治療ではなく問題解決過程と捉え、精神分析や自我心理学、機能主義学派の知見を導入し、クライアントの主体的な問題の対処が強調されています。
2. ○ホリスの心理社会的アプローチは、ソーシャルワークの診断主義学派の概念を継承したもので、個人と環境を「状況の中の人」として全体的な関連性の中で捉えました。
3. ×選択肢は、それまで分立していたケースワーク、グループワーク、コミュニティオーガニゼーションをひとつにして「一元的アプローチ」を唱えたゴールドシュタイン（Goldstein,H.）の説明です。バートレットは、「社会福祉実践の共通基盤」で、ソーシャルワークに共通する構成要素として価値、知識、人と環境の均衡関係への多様な介入方法を挙げました。
4. ×選択肢は、キャプラン（Caplan,G.）等の危機介入アプローチの説明です。ソロモンは、1976年「黒人のエンパワメント」で社会的構造により抑圧、疎外された黒人の権利回復に向けたソーシャルワーク実践を示しました。
5. ×選択肢は、ソーシャルワーク実践をシステム理論の視点で捉え、4つの下位システムを提唱したピンカス（Pincus,A.）とミナハン（Minahan,A.）の説明です。ジャーメインは、ギッターマン（Gitterman,A.）とともに生態学的視座で生活は人と環境の交互作用の場と捉え、「エコロジカルアプローチ」を提唱しました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus